

🐮 ぎゅうぎゅう通信 🐮 第20号 🎉

🐮 ついに第20号！これまでの酪農部の歩みを振り返る 🐮

こんにちは！中央農業高校酪農部です！今回は記念すべき第20号ということで、ここ数年の酪農部の活動を振り返りたいと思います。

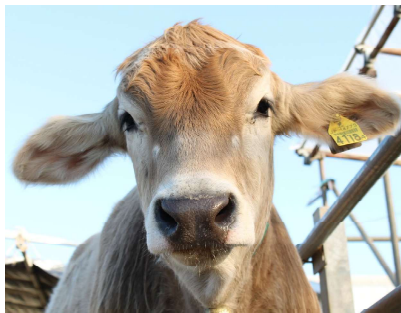
🐮 その1 酪農教育ファーム復活 🐮

現在、月に一回学校の牛舎で開催している酪農教育ファームは2年前に復活し、今までに30回も開催してきました！主な内容としては、乳搾りやえさやり体験、牛とのふれあいなどをおこなっています。毎回教室の後にはアンケートを取り、満足度のさらなる向上を目指して内容の改善を続けています。

🐮 その2 ゲロロの大活躍 🐮

みなさんはゲロロという牛を知っていますか？ゲロロはブラウンスイス種という乳用種のオスとして令和5年12月8日に生まれました。基本的に乳用種のオスは肥育農家に買われ、肉用として育てられるのですが、ブラウンスイス種はお肉があまりつかないこともあり、そのほとんどが子牛のうちに殺処分されてしまいます。そんな子牛たちの運命を少しでも変えたいという先輩の思いから、牛の社会動物としての可能性を伝えるために乗馬ならぬ「乗牛」を実現させる取り組みが始まりました！

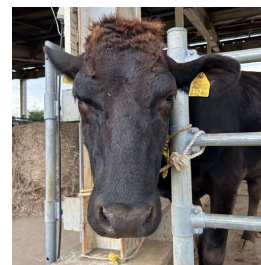
おもりを乗せて重さに慣れさせるなど、約4ヶ月間の調教をおこない、ついに令和6年7月10日、乗牛に初成功しました！その後は9月頃から酪農教育ファームでの体験も始まり、大変多くの



方にゲロロについて知ってもらうことができたのではないかとと思っています！

そんなゲロロは今年の9月に出荷されました。お肉は昨年度の文化祭で販売され、乗牛を体験してくれた多くの方々に買っていただくことができました。ゲロロは、牛の社会動物としての可能性を切り拓いたとてもすごい牛だなと感じました。

現在は黒毛和種のつくしが乗牛の後継牛として頑張っています。ぜひ酪農教育ファームに参加して、つくしに乗ってみてください！



つくし

🐮 その3 放牧 🐮

放牧をすることで、牛のストレス軽減や乳質の向上、人の作業の負担軽減のために酪農部の部員が始めたこの実験は、今年の冬頃から、安全に放牧をするための準備などを始めて、今年の7月末から本格的な放牧が始まりました！美味しそうに牧草を食べ、のびのびと走り回る牛たちはとても幸せそうです。正門横の歩道から牛たちを見ることがあるのでぜひ見てみてください！



新コーナー！

酪農部員の ただただ推したい！

このコーナーは、牛が大好きな酪農部員による独断と偏見で、自分の推し牛や牛舎のおすすめスポットなどを紹介します！

牛舎のおすすめスポット

1つ目：放牧場

1つ目は酪農教育ファームで、ふれあいや乗牛の際にも使っている放牧場です。ここは牛が広いスペースで自由に動き回ることができるため、牛たちにとってもいい場所なのではないかと思っています。

この放牧場で特におすすめしたいポイントとしては、土曜日や休日の部活動の休み時間に牛たちと遊べることです！放牧場の中に入ると、なんと牛たちが近づいて来てくれます！ブラシを持っていると撫でて～とおねだりしてくるところがとても可愛いです！また、牛と一緒に寝ることができる場所も、牛の可愛さを全身で感じられるためおすすめポイントの1つです！



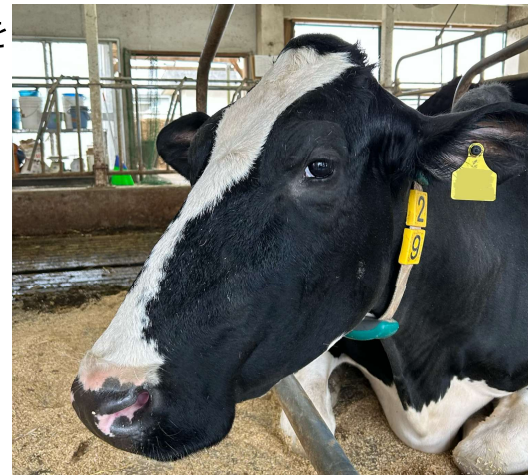
近づいて来てくれる
ビビンバちゃん



リラックス中の
エースちゃん

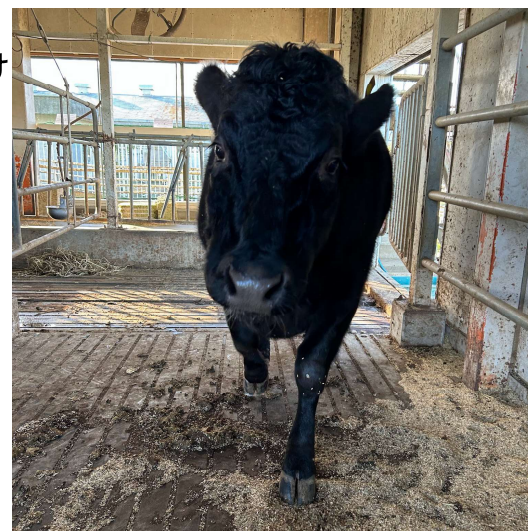
2つ目：牛舎の東側通路

2つ目は牛舎の通路！ここを通ったときに牛が近づいて来てくれるのが私のお気に入りポイントです！みんな人懐っこくて、すぐに駆け寄ってきてくれるのを見たときは日ごろの疲れも飛び、もっとこの子たちのために頑張らないかなと思います！特にごまみそちゃんは人一倍勢いがすごくて甘えん坊なのでみんなのアイドルです 



休憩中のハッカちゃん

そんなごまみそちゃんは今年度の11月の文化祭でお肉として販売する予定です。三元牛という3種類の和牛の品種がかけ合わされたとても珍しい品種なのでどんなお肉になるのか楽しみです！おいしいお肉になってもらうため、そして中農に生まれて良かったと思ってもらうために部員全員でしっかりとお世話をしていきたいです。



駆け寄ってくるごまみそちゃん

次回は10月下旬発行予定！